

## 平成26年度 施策評価シート（評価対象：H25年度）

### 【1. 施策名】

施策コード	142-01	基本施策	地域医療体制の充実	所管部局	保健福祉部
施策名	<b>医療提供体制の整備</b>			主担当課	長野市保健所総務課
				関係部局課	生活部医療事業課
施策の目標	医療関係機関や医療機関などとの連携や医療提供体制の充実などにより、信頼される地域医療と救急体制を確立します。				

### 【2. 施策に取り組む理由】

施策目標に対する市民ニーズの傾向及び、施策目標の達成に向けた市の役割など
医療ニーズの多様化、高度化等により、救急医療やがん等の専門医療の充実とともに、中山間地域での医療提供などが求められているため、医療機関や医師会等と連携し、初期救急医療体制等を維持するとともに、医療相談窓口としての医療安全センターの充実をしていく。 地域の中核病院である長野市民病院においては、がん等の高度医療、救急医療を充実するとともに、経営の安定化・健全化に努める。 また、直営診療所により中山間地の医療提供をしていく。

### 【3. 施策指標】

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値（H22）	実績					目標値（H28）
			H24	H25	H26	H27	H28	
急病センター・在宅当番医等利用者数	人	48,024	48,662	46,218	/	/	/	49,000
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
休日及び夜間における急病センター及び在宅当番医等の利用者数	引き続き市民の夜間・休日の急病等に対応する医療体制の確保が必要であることから、現在の体制を維持していく。							
施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値（H22）	実績					目標値（H28）
			H24	H25	H26	H27	H28	
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
25年度の取組内容実績	①初期救急医療体制 ・篠ノ井総合病院・長野松代総合病院への急病センター業務委託 49,368千円 ・長野市医師会、更級医師会等への休日・夜間の在宅当番医委託等 9,085千円 ・長野市民病院、篠ノ井総合病院の急病センター業務に係る長野市医師会、更級医師会への補助 1,792千円 ②病院群輪番制病院運営事業 長野赤十字病院、篠ノ井総合病院、長野松代総合病院、千曲中央病院への補助 30,953千円 ③小児救急医療体制 ・小児急病対応講座（小児のいる市民）の実施 開催回数5回 参加人員147名 ・小児初期救急充実研修（小児科医以外の医師対象）の実施 開催回数6回 参加人員延べ223名 ④長野市民病院に、がんを中心とした高度・救急医療などの医療機器等整備事業 292,418千円							

### 【4. 総合評価】

<b>総合評価</b> （目標値に向けて）	<b>概ね順調</b>
評価の理由・説明等	
<b>適応性</b> 市民ニーズや社会経済状況の変化に柔軟に対応しているか	急速な少子・高齢化の進行や医療技術の飛躍的進歩、あるいは住民の医療に対する意識の変化など、医療を取り巻く環境は大きく変化している。 子どもから高齢者まで、すべての市民が安心して健やかに生活できるまちづくりが求められている。 そこで、市民に対し、良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制が確保できるよう努めている。
<b>達成度</b> 施策の目標達成に向けて順調に進んでいるか	・急病センター及び在宅当番医事業により、一年365日、休日及び夜間における救急患者への医療提供が図られている。 ・長野市民病院においては、がんを中心とした高度・救急医療などの充実を図っている。 ・中山間地域においては、直営診療所の運営により地域医療の確保に努めている。
<b>事業の成果等</b> 施策を構成する事務事業は目標を達成しているか	事務事業については、一部において目標値に達しておらず、努力を要する事業があるが、概ね順調に事業を展開している。

【5. 今後の展開】

課題	課題解決に向けた具体的な取組
1 病院群輪番制病院への補助金交付方法及び市町村の負担方法については、公平性の観点から見直しが求められている。	平成24年度から長野保健福祉事務所を中心に、病院群輪番制病院及び関係市町村と協議してきたが、平成27年度から病院への補助金交付方法及び市町村の負担方法の見直しを図ることで、ほぼ合意ができた。
2 長野市民病院がこれまで提供してきた良質で安全な医療をこれからも継続し発展させていくためには、将来の医療需要や医療環境を見据えた上で、より迅速な意思決定に基づく柔軟な経営が求められている。	平成26年2月に長野市民病院経営委員会から「地方独立行政法人化に向けて準備をされるように」という旨の意見書が長野市長あてに提出されたことを受け、長野市民病院の新たな経営形態として、地方独立行政法人化について課題を整理しながら検討を行う。
施策展開の方向性 (H26年度以降)	<ul style="list-style-type: none"> <li>初期救急医療体制整備については、医師会、医療機関等と連携し、引き続き、初期救急医療体制を維持していく。</li> <li>医療施設の運営については、長野市民病院及び直営診療所の適切な運営を継続する。</li> </ul> なお、長野市民病院については、地方独立行政法人化の検討を進める。

【6. 施策を構成する主な事務事業】

番号	事務事業名 [事業区分] 担当課名	事務事業の状況									
		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
1	急病センター事業 [補助金・金銭給付事業] 長野市保健所総務課	夜間の内科・小児科等の比較的軽度な救急患者に初期救急医療を提供する（篠ノ井病院・松代病院・市民病院）。					毎年、18,000人を超える利用者があり、初期救急医療を提供する事業として定着している。 H23 18,954人 H24 18,955人 H25 18,516人				
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H26は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
		B	A	A	A	A	継続	53,076	52,554	52,773	57,545
2	在宅当番医制 [補助金・金銭給付事業] 長野市保健所総務課	日曜・祝日の昼間、比較的軽度な救急患者に初期救急医療を提供する。					毎年、27,000人程度の利用者があり、初期救急医療を充実する事業として定着している。 H23 27,442人 H24 28,710人 H25 26,669人				
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H26は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
		B	A	A	A	A	継続	15,032	15,481	12,306	14,587
3	歯科急患医療事業補助金 [補助金・金銭給付事業] 長野市保健所総務課	日曜・祝日の昼間、歯科の救急医療を必要とする患者に初期救急歯科医療を提供する。					毎年、900人を越える利用者があり、救急歯科医療を提供する事業として定着している。 H23 955人 H24 997人 H25 1,033人				
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H26は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
		B	A	A	A	A	継続	2,584	2,627	2,590	2,605
4	医療安全センター事業 [内部管理的事業・その他] 長野市保健所総務課	患者又は家族等からの医療機関等に関する苦情や相談（医療相談）への対応					相談内容は多岐にわたり、健康や病気に関する相談などについての複数回の相談も増加している。（H23 637件 H24 660件 H25 646件）				
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H26は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
		C	A	A	A	A	継続	5,227	5,251	5,236	5,260

